



お花見会

4月7日にお花見会を開催しました。

今回は、新型コロナウイルスの影響のため、規模を縮小し、通常の食事形態でのお花見会となりました。

常に換気を行い、感染予防に十分気を付けながら、ビンゴゲーム等の催しを実施しました。

今回は、食事にもこだわり、これまで以上に華やかなお弁当となりました。（おまんじゅうも好評でした。）

ビンゴゲームでは、賞品をめぐって、司会の上手な進行もあり、皆さん笑顔で食べるのも忘れてゲームに熱中していました。

今後もウィルスの脅威に十分気を付けながらも、日々の生活を楽しめるよう工夫し、皆さんの笑顔につなげていきたいと思っています。



8月 はばたき発行

7月 夏まつり

行庫留庭

6月 日はばたき発行

4月7日 お花見会
（コロナウイルス対策実施済）

3月11日 夜間想定避難訓練
（コロナウイルス対策実施済）

2月7日 針供養
8日 市役所販売会

行庫留庭

令和第4号 (No.1 1 2)

発行: (株) 啓 仁 会
天 草 更 生 園
熊 本 県 天 草 郡
苓 北 町 上 津 深 江

-就労・生産-
ク リ ー ニ ン グ
縫 製 ・ 軍 手 ・ ウ ェ ス 製 造
印 刷 ・ 珈 琲
珈 琲 工 房 麟 泉

珈琲工房 麟泉

TEL 0969-35-1311
FAX 0969-35-1312

<http://www.k-keijinkai.or.jp>

印刷: 天草更生園印刷科

2月7日 針供養
8日 市役所販売会

3月11日 夜間想定避難訓練
（コロナウイルス対策実施済）

4月7日 お花見会
（コロナウイルス対策実施済）

6月 日はばたき発行

行庫留庭

7月 夏まつり

8月 はばたき発行

針くよう

2月8日に針供養を行いました。縫製作業の中で使用した針を豆腐に刺して、一年間お世話になった道具に対する供養を行います。

天草更生園でも毎年行っており、今年も関係職員が集まって供養をしました。

一年間お世話になった道具に感謝し、これからの技術の向上と無事故のお祈りをしました。



新利用者紹介



生活介護利用
徳本真智子さん

1月8日に天草更生園に入所しました。皆と仲良く生活したいです。ウェスの作業の皆さん、これからよろしくお願いします。



新職員紹介



職業指導員
野田 仁

2月から天草更生園、就労部でお世話になっています。

明るく、楽しく、元氣はつらつをモットーに頑張りたいと思います。

よろしくお願いします。



生活支援員
岩崎佳奈

令和2年4月から天草更生園、就労継続支援B型事業の生活支援員に異動してまいりました岩崎佳奈です。最初は、新しい環境と初めての作業に不安もありましたが、利用者の方や、職員の方の温かさを感じ、今は、学びの多い毎日を送っています。

これからもっと利用者の方を知り、一人一人に有った支援ができるよう日々精進してまいります。



調理員
下門寿也子

はじめまして調理員の下門寿也子です。

「食は命の源」この言葉に感銘し調理職に誇りを持って従事しています。

サビた脳を活性化するのに悪戦苦闘の毎日ですが、早く独り立ちできるよう努力致しますのでご指導よろしくお願い致します。

新型コロナウイルス対応について

天草更生園では、新型コロナウイルス対策として、国、県、市町村の指示や、各種資料を基に対応を検討し、感染対策を講じています。

利用者の皆様はもとより、職員も感染しない、持ち込まないを強く意識して対応を行っています。

生活部では、新型コロナウイルス罹患患者発生を想定したシミュレーションを行い、対応の確認と、反省事項の洗い出しを行っており、更に検討を進めています。

作業面では、寝具クリーニングを行って、作業面では、新型コロナウイルス対応への情報を逐一確認し、確実な消毒や、温度管理によって、適切な対応を行っています。

就労部ではこれまで培った縫製作業の技術や、材料があることから、自家製マスクの作成を行い、必要な方への販売を行っています。

限られた人数で、作業の合間を見ながらの作成しておりますので数量に限りがありますが、施設内で必要な方に提供を行っています。

また、熊本県からは、苓北町を通じてマスクを提供して頂き、大事に使わせてもらっていることから、今のところ、マスク不足の心配はないようです。

新型コロナウイルスの影響により行事の縮小や、中止を余儀なくされる状況もありますが、生命を守るためにも、皆様のご協力をお願いしているところであります。

ご利用者の皆様には外出や帰省の自粛をご協力いただきました。

いつも楽しみにされている買い物については、町内の商店にご協力いただき、昼休みには施設食堂にて出張販売を行っております。

編集後記

今月号から新しく担当になりました。

今までは、読む側でしたが、今からは作る側となり楽しみでもあり、責任重大と感じています。今月号から2年間頑張っていきますので、宜しくお願いします。

また、新型コロナウイルスで利用者の方々は外出を自粛されています。当たり前の事が当たり前に出来なくなり不便さを感じ、ストレスもたまっている事と思います。少しずつ終息してはいますが、完全に0にはなりません。自粛解除になりましたが、以前の生活ではなく新しい生活スタイルで、日々を過ごしていただけたら見えない敵にも勝つ事が出来ると、信じてます。

二〇二〇年度 事業計画

障がい者支援施設

天草更生園

〔生活介護事業・施設入所事業〕

1 事業運営基本計画（方針）

令和も2年目となりましたが、天草更生園の生活介護・施設入所支援事業も9年目を迎えます。令和元年度は18歳の方の入所もありましたが、年齢の幅があり70歳以上の方も13名（男性11名、女性2名）施設生活をおくられています。独立歩行だった方も徐々に身体機能が低下し車椅子利用となられた方もいます。このように重度・高齢化が進み生産活動に参加する事が難しい方が増えています。個々の状態に応じた作業、日中活動に参加してもらいながら、う

るおいある施設生活を送れるよう、私達職員一丸となって支援を行っていきます。

◇2020年度の取組として
毎年実施している利用者旅行について、今年度もそれぞれの作業場や利用者の心身の状態に応じた行き先と班分けを行い、日帰り旅行を企画、立案、実施します。また、3年目となる「みんなでレクリエーション」もグループで実施し楽しみながら行っています。尚、新年度の行事については、新型コロナウイルス感染症の状況次第では、利用者への説明を行い同意のもと、内容の変更や中止の場合があります。

生産活動（クリーニング、珈琲、軍手、ウ

エス）についても、日々の生きがいとして生産活動に参加し工賃を得る喜び、生活の楽しみ、励みとなるよう利用者個々の障がいの状態に応じた作業の提供を行います。

障がい者就労センター

天草更生園

〔就労継続支援A型事業〕

A型事業（クリーニング）の就労支援については、責任感を持ち、自ら積極的に多種作業に取り組む姿勢を身につけ、効率よく作業を行い個々の目標達成・賃金アップに繋がるように支援を行います。又、従業員



は、一日外出支援や半日外出支援、買物支援等を行い、心身のリフレッシュ（気分転換）を図ってもらい、生産活動の他にも余暇的な日中活動に参加する事で日々の生活を楽しくもたせるよう支援を行います。

又、施設生活を送る上で、利用者間での見方、考え方、思い、行動などの違いでトラブルが起こることもあります。職員は日頃から利用者へ気配り、目配り、傾聴を行い、利用者間のトラブルを未然に防ぐよう努めます。

最後に今回のような新型コロナウイルス感染症が世界的感染症（パンデミック）となったことを機に、更に感染症対策の強化を行いマニュアルに沿って利用者支援を行っていきます。

者が安定した状態で就労を行うために生活相談についてもサポートを行います。

新規従業員については、B型利用者で能力が高く、A型を目標にされ日々努力されている利用者、更にはA型作業での活躍が期待される利用者のA型移行についてもB型事業所と連携して進めてまいります。現在、一般就労を希望される方はいませんが、若い従業員の将来のことを考え、一般就労への助言・支援についても合わせて行います。

上心を持って取り組むことができるよう支援の検証を行い、利用者の状態に合わせた最適な職業指導に努めます。又、就労A型への移行については、A型移行を目指す作業の習熟度が高い利用者については、A型移行ができるように支援します。

クリーニング事業では、作業効率を高め、安定した作業の提供と製品の供給を行うため、長年使用し老朽化した連続洗濯機を新しく入替えを行う予定です。

設備関係では、老朽化した機械（ロールアイロナー）を2019年度に新しく入替え、作業効率が上がったことで、継続して安定した製品の提供を行います。又、電気使用量の削減にもつなげます。

珈琲事業では、積極的に外部出店や試飲会を行い、知名度、売上アップに努めるとともに、珈琲豆パッケージの新規パッケージの作成を行います。



従業員の方は、与えられた仕事は最後まで取り組み、又、職員は意識を高く持ち信頼できる就労指導に努めます。

今年度も従業員が「働く喜び」を感じ「安定した生活」が送れるよう、モチベーションを維持しながら一日一日が達成感のある一年になるよう支援します。

障がい者支援センター

天草更生園

就労継続支援B型事業

B型事業（クリーニング・印刷・珈琲）の就労支援については、利用者一人ひとりの性格、特性、行動を理解し、それぞれが向

印刷事業では、顧客の要望・注文に対し迅速・柔軟に対応し、顧客との信頼関係を固く安定した作業の確保に努めます。又、機器の老朽化も進んでいるため、より効率的な作業ができる機器の入れ替え検討も行います。

工賃については、利用者の技能や能力での評価方式ではなく、作業ごとの点数を設け加点方式とします。一人一人が色々な作業に取り組めるよう作業に対する指導を充分に行うことで工賃アップにつなげます。

新規利用については、特別支援学校、相談支援事業所等からの就労希望者に対する見学や実習の積極的な受け入れを行い、新規利用者の確保に努めます。

利用者は、休むことなく毎日作業に取り組み、職員はそれぞれが意識を高く持ち信頼できる業務遂行に努めます。

就労事業全般新型コロナウイルス感染症拡大の影響が懸念されますが、今年度も利用者の皆さんがやり甲斐を持って働ける充実感ある一年になるよう支援します。

夜間想定避難訓練

3月12日に（コロナウイルス対策済）夜間想定避難訓練を実施しました。

夜間の施設内において火災が起きたことを想定し、入所の利用者の方を中心に、職員と共に避難誘導を訓練しました。



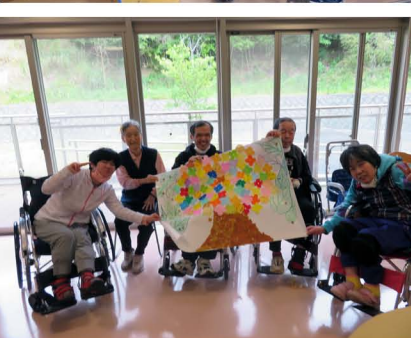
避難時は鼻、口を布等で抑えながら、煙を吸わないように注意しながら避難します。

誘導する職員は、夜間ということもあり、懐中電灯を持ちながら、大きな声をかけて誘導しました。

火災を含め、災害はいつ起きるかわかりません。いつでも対応できるように、日頃から心構えをしておきたいです。



日中活動



成人のお祝い

今年4月に成人を迎えた利用者の方をみなでお祝いし、記念品を差し上げました。

